

第 40 回土木計画学研究発表会（秋大会）：2009 年 11 月 21 日～23 日（金沢大学）
セッション討議内容の記録

セッション名：地区交通計画	
日付：11月21日（土）曜日、セッション時間 10：45～12：15	
司会者名（所属）：岡村敏之（横浜国立大学）	
討 議 内 容	<p>セッション全体： 自治体での地区交通計画に関連する各種制度の評価に関する研究が3編発表された。「総合交通計画」「都市計画道路見直し」「自治体の駐車場整備の技術的基準」が対象で、いずれも実務上の必要性や課題の多い制度である。制度の運用面の課題や今後の方向性について、議論が行われた。</p>
	<p>（49）樋口恵一（日本大学大学院）： 自治体で作成される総合交通計画の全国的な策定状況と、市原市を例とした総合交通計画策定過程のケーススタディで構成された研究である。全国各都市での公共交通計画に対する"温度差"の現状、パーソントリップ調査データ等の有無が計画策定に与える影響、市町村合併と総合交通計画策定との関連などについて質問が出された。また、総合交通計画策定の必要性・効果の大きさと、実際の計画策定の有無とのギャップについて議論がなされた。</p>
	<p>（50）牛山健太郎（岐阜大学）： 岐阜県を対象として、「都市計画道路見直し」手法の提案とその評価を行なった研究である。都市計画道路廃止による都市圏内の混雑状況の具体的な状況、「見直し」における道路横断面構成の変更の考慮の有無、「見直し」での県・市の調整方法、代替路の検討方法、交通量配分計算結果の妥当性などに関して質疑が行われた。</p>
	<p>（51）小林陽一郎（日本大学大学院）： 自治体の駐車場条例等を対象として、整備基準や附置義務などについて比較を行った研究である。駐車場の管理・設置・特殊スペース（荷捌き、身障者等）の扱いなどを記載した条例が、一元化されている自治体もあれば、個別のいくつかの条例で別々に記載されている例など、自治体間で大きな相違があることが紹介された。駐車場条例の現状、駐車スペースのコントロールの有無（特に抑制側）、駐車場の運用や使い勝手などに積極的に言及しているか、などについて質疑が行われた。</p>